

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	2トンプラスチック収集車購入事業	有田川町	4,000,000	4,000,000	4,368,232
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	高度救急処置シミュレーター購入事業	有田川町	2,000,000	2,000,000	2,613,600

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	2 トンプラスチック収集車購入事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		有田川町
交付金事業実施場所		有田川町大字下津野
交付金事業の概要		以前使用していたプラスチック収集車が老朽化しており、引き続いて住民の生活環境保全に資するため、プラスチック収集車を購入しました。
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策                      第二次 有田川町長期総合計画（平成29年度～平成38年度）                      基本目標3：自然と共生し、快適に暮らせる生活基盤の整備                      政策5：美しい自然環境の保全と循環型社会の構築                      施策14：循環型社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点集積方式によるごみ収集を推進し、ごみステーションの整備や収集回数、収集体系の検討など、ごみ収集体制の充実を図ります。</li> </ul> <p>目標：安全かつ効率的にゴミ収集ダンプでのゴミ収集を行い、住民の生活環境保全に資するとともに循環型社会への理解や構築の一役を担います。                      循環型社会に資する活動を行っている住民の割合 70%(平成27年)→80%(平成33年)</p>

事業開始年度	令和元年度	事業終了年度	令和元年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	収集車の稼働率 対前年度比 100%以上	稼働率：対象年度稼働日数÷前年度稼働日数×100	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価				
	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度		
	車両本体購入		活動実績	台	1	
			活動見込	台	1	
			達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	2019年度	年度	年度	備考		
総事業費	4,368,232					
交付金充当額	4,000,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
2 トンプラスチック収集車購入		指名競争入札	阪和自動車株式会社（有田川町）		4,368,232	
計					4,368,232	
交付金事業の担当課室	有田川町役場 環境衛生課					
交付金事業の評価課室	有田川町役場 環境衛生課					

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	高度救急処置シミュレーター購入事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		有田川町
交付金事業実施場所	有田川町大字下津野	
交付金事業の概要	以前の高度救急処置シミュレーターは、老朽化により使用が困難でした。日々の救急訓練で使用するため、新しい高度救急処置シミュレーターを購入しました。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関する主要政策・施策</p> <p>第二次 有田川町長期総合計画（平成29年度～平成38年度）</p> <p>基本目標3：自然と共生し、快適に暮らせる生活基盤の整備</p> <p>政策7：安全・安心な暮らしを保障する体制の整備</p> <p>施策19：消防救急体制の整備</p> <p>○救急救命士の養成の継続を図るとともに、有資格者については再教育病院実習等の研修により、さらなる技術の向上に努めます。</p> <p>○救助隊員の研修を継続し、技術・指揮能力の向上に努めます。</p> <p>○住民への普通救命講習や救命入門コースの受講を推進します。</p> <p>救命講習受講率 23%(平成27年)→32%(平成33年)</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了年度	令和元年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	高度救急処置シミュレーターの利用人数	年間利用述べ人数	成果実績	人	126
			目標値	人	100
			達成度	%	126
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価				
	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度		
	シミュレーター本体購入		活動実績	体	1	
			活動見込	体	1	
			達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和元年度	年度	年度	備考		
総事業費	2,613,600					
交付金充当額	2,000,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	2,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
高度救急処置シミュレーター購入		指名競争入札	日本船舶薬品株式会社神戸支店（神戸市）		2,613,600	
計					2,613,600	
交付金事業の担当課室	有田川町消防本部					
交付金事業の評価課室	有田川町消防本部					